

キャリア研修事例紹介

チーム名	水戸ホーリーホック
競技・競技レベル	プロサッカーチーム J2所属（2022.10時点）
参加人数・年齢帯	選手13人 20才～45才
チームの課題	<p>【プロサッカー選手の抱える課題とチームの方針】</p> <p>サッカーエリートとして常に周囲の脚光を浴びながら生きてきた選手は、限られたコミュニティや人としか接しておらず、社会性や一般教養が身につけにくい環境である</p> <p>プロアスリートとしての職業価値や地域における社会的な存在価値の高さに気づく選手を一人でも多く輩出していきたい</p>
キャリア支援プログラムの狙い	プロアスリートとしての価値向上、及び人間的成長をサポートし、その先にある自分らしい「キャリア」を描き、実現していく

キャリア支援プログラム全体像

22年10月7日
集合研修

23年4月（予）
個人ワーク

23年5月（予）
キャリア面談

キャリアワークショップ

約2時間

1. 取り組む背景
2. みなさん（プロアスリート）のキャリアデザインの留意点
3. 社会人基礎力とは？

目標設定・サーベイ受検

個人毎に実施

- ・MVVワークシート
- ・社会人基礎力サーベイ受検
PROGテスト

1オン1キャリア面談

個人毎に実施（1h程度）

- ・スポーツキャリアサポートコンソーシアムが養成するアスリートキャリアコーディネータ（ACC）との1オン1面談
- ・MVVワーク内容、PROGテスト結果を元にした、キャリア面談



MAKE VALUE PROJECT セカンドステージ キックオフ

令和4年10月7日(金)
スポーツキャリアサポートコンソーシアム

「プロサッカー選手とは、
自分で自分を経営する
II
自分自身の経営者である」

(前チエアマン 村井満さん
Jリーグ新人研修にて)

まさに、みなさんに求められるキャリア
の概念なのでは？

現役中のみならず、人生全体について
どう考え、実現していくか。
その土台として、M・V・Vがある。

プロティアン・キャリア (変幻自在)



キャリアの成否を
決めるのは自分

組織は地面のようなもの
個人の求める場を提供する

「MVP」の先にあるもの

<MVPの目的>
プロアスリートとしての価値向上
及び人間的成長をサポートし
社会に貢献する人間を育成

<その先>
自分らしい「キャリア」
を描き、実現していく

キャリアとは、「働き方、生き方のすべて」

世の中全体で
キャリアに関する考え方に
大転換が起こりつつある！

必要なスキルを獲得し、経験を資産に。
キャリア・キャピタルを貯めて
自分の市場価値を高める

ビジネス資本
(知識や学び)

社会関係資本
(人脈やコミュニティ)

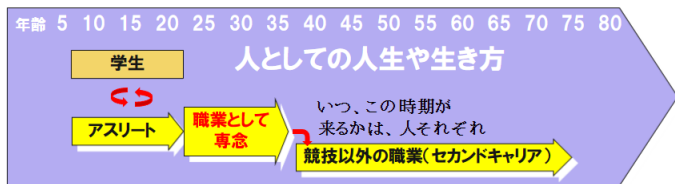
経済資本
(貯蓄や仕事のスキル)

「ビジネス資本」と「社会関係資本」を増やすことで
「経済資本」を増やすことができる

・アスリートの「経験」は、
「キャリア資本」であり
「社会で活用できる貴重な資本」
・競技外に活用するためには
【戦略的転換】が必要

【アスリートによくある状態】
限定的な人間関係
の中での交流が、
偏った価値観や
スタンスの形成に
繋がりがち

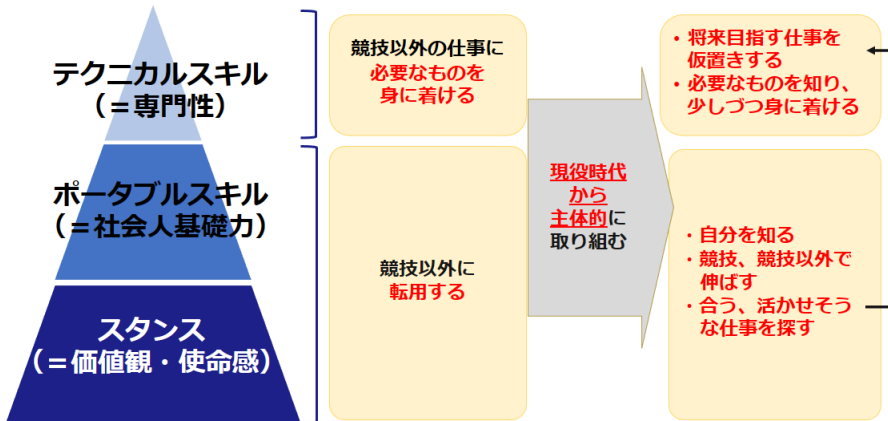
‘プロ’アスリートの特徴



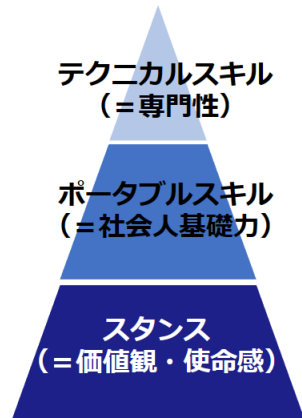
現役中に、自ら主体的にキャリアに向き合わないと、自分らしいセカンドキャリアを選択できないリスクがある。(競技を職業に出来たからこそその盲点)

- ・職業として競技に専念できる反面、学生時代のように「強制的な」デュアルキャリアの環境は与えられず、就活のやり方は多様。
- ・いつキャリアチェンジの時期が来るかは人それぞれ。そして引退後は長い。
- ・「戦略的転換」の準備がより必要になる(経験は沢山蓄積されている)。

プロティアン(変幻自在)のために



サッカーを通じて培われるチカラ



選手として活躍するために必要なサッカー選手としてのスキル

※競技そのものに向き合うことで得られる専門性。
※サッカー選手引退後は他分野への応用は不可能。

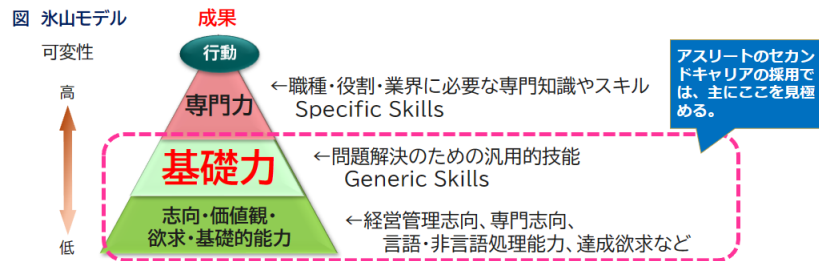
サッカー選手としてのみならず、一人の人間として必要となる、いわゆる「人間力」

※競技そのものはもちろん、競技以外(チーム内外での関わり)で得られる汎用的なスキル。
※社会人として他の分野でも応用可能なもの。

社会人基礎力とは？



- どのような職業にも共通する基礎力
- 仕事などで、成果をあげるために活用している**発揮能力**
- **学習・経験を通じて変化**



スポーツキャリアサポートコンソーシアム キャリア支援プログラム

- スポーツキャリアサポートコンソーシアムでは、チームとして実施していただける、キャリア支援プログラムを準備しております。
- 各チームの事情や課題にあわせ、プログラムをカスタマイズすることができます。
- 実施に当たり、研修講師や面談対応する専門のアスリートキャリアコーディネータなど、ご要望に応じて手配をさせていただきます。

【お問い合わせ先】

スポーツキャリアサポートコンソーシアム

HP [スポーツアスリートキャリアコンソーシアム SCSC \(sportcareer.jp\)](http://sportcareer.jp)

mail sportcareer@futuredesignlab.jp

tel 03-6222-9855



コンソーシアム
動画資料